

知床五湖の利用のあり方協議会（第7回）議事録

1. 場所：知床世界遺産センター レクチャールーム

2. 日時：平成22年2月22日 18:00～20:30

3. 出席者：別紙のとおり

4. 配布資料

資料 1-1 利用適正化計画案

資料 1-2 知床五湖利用適正化計画（骨子）に寄せられた意見

資料 2-1 第3回ヒグマ対処法引率者検討部会の実施要綱

資料 2-2 知床五湖利用コントロール導入実験実施要綱案

資料 3-1 広報イベント案とスケジュールについて

資料 3-2 平成22年度の「知床五湖」の利用について 広報案

資料 4 知床五湖の利用のあり方協議会 全体作業スケジュール（案）

参考資料 1 知床五湖の利用のあり方協議会での検討事項

参考資料 2 協議会、利用適正化計画及び利用調整地区の関係について

参考資料 3 ヒグマ対処法引率者（仮称）の養成等とヒグマ活動期の立入の認定について

5. 議事概要：

(1) 開会挨拶：環境省釧路自然環境事務所 則久次長

本日の議題としては、利用適正化計画案の説明、利用のコントロール導入実験について、広報の進め方、全体のスケジュールについての4点となる。前回指摘いただいた協議会規約については検討中であり、次回までにお示ししたい。

(2) 議題 1. 利用適正化計画案について

環境省：資料 1-1～1-2 に基づき、利用適正化計画案について説明。

前回の協議会意見をふまえて、計画案を作成。計画案に対する意見は3月5日までにウトロの自然保護官までご意見いただきたい。

知床ガイド協議会：372、373 行目の記述で、非常用携行食の持ち込みを除くとあるが、持ち込んでよいものを具体的に記載したほうがよい。

環境省：荷物を預ける必要性が生じるので、コインロッカーが必要になると考えている。

ウトロ地域協議会：384 行目の外来種を非意図的に持ち込まないようにとあるが、具体的な対策は考えているか。

環境省：受付施設入り口に靴の泥を落とすマットなどの設置を想定している。

ウトロ地域協議会：442 行目に新たな歩道施設の整備は行わないとあるが、既存の木道が痛んだ場合は整備するのか。また踏み跡のくぼみを避けて通行している箇所などの対策は実施しないのか。

環境省：利用を増やすための整備は行わないが、自然を守るための整備は実施する。

知床温泉旅館協同組合：以前話をした駐車場の段差解消による駐車台数の確保の件は記載が無いが、どうなったのか。

環境省：23 年度に案内施設、パークサービスセンターの整備に伴い、外構整備工事を予定しており、建物周辺の部分的な段差の解消は対応できる。ただし駐車場については全面的な再整備は考えていない。

知床エコツーリズム推進協議会：食べ物の持込に関して、150 行目と 372 行目に重複して記載がある。同じ内容であれば 150 行目で記載する必要はないのでは。

また 460 行目に記載のある特別な空間の演出とは具体的にどんなイメージなのか。

なお、先ほどのコインロッカーの件については、パークサービスセンターに設置できないか自然公園財団と協議中である。

環境省：まず食べ物の持込に関する記載について 150 行目は課題の記述であり、372 行目は利用者が守るルールを記載しているため内容の重みが違う。ただし 150 行目の文章は少々くどいので見直したい。

特別な空間ということについては、まだこちらでも具体的なアイデアはない。ハード面だけでなくソフト面で特別な場所としてセンスの良い演出ができればと考えている。

ウトロ地域協議会：372 行目ににおいのある飲食物・・・との記載は、非常用携行食の持込のただし書きがあるため、記載は不要。まぎらわしい。

しれとこウトロフォーラム 21 : 9 ページに全員レクチャー受講とあるが、料金は決まったのか。またその際の料金はこういった位置づけか。

環境省 : 以前から質問をいただいておりますが、夏頃には具体的な金額が示せると思う。法制度上の上限は 2000 円となるが、五湖は利用者が多く数百円になるのではと考えている。料金は入場料ではなく、認定事務手数料となる。

しれとこウトロフォーラム 21 : 地元の人は駐車料金が取られるようになってから行かなくなった経緯がある。なるべく安く抑えてほしい。

また 346 行目に 1 回利用するたびに再度認定を受けるとあるが、複数回利用したい人もおり、何度も手数料の納付を行うことは理解してもらえないのでは。

環境省 : その点はよく理解できる。ただし法律上の立ち入りは 1 回毎となっており、料金は認定事務手数料という位置づけとなっていることから、原則は立入 1 回ごとであり、対応が難しい。制度の根幹であり持ち帰って検討したい。

しれとこウトロフォーラム 21 : 荷物の預かりは必須。コインロッカーを設置するのであれば無料で提供すべき。

また五湖の規制について、湖にボートを浮かべたり、ウルトラライトプレーンなどで空から立ち入ることについてはどうなのか。

また歩道がぬかるむときの長靴の貸し出しなど、利用へのサービス提供も検討が必要。

環境省 : 空からの利用は着陸すれば規制対象となるが、飛行するだけなら規制はできない。そういう利用は制度上、想定していなかった。鳥類への影響もあると思われ、事前に相談があれば、行わないようお願いをしている。

しれとこウトロフォーラム 21 : 植生保護期も利用調整の期間ということか。

環境省 : そうである。自由利用期だけが期間外である。以前制度がわかりにくいというご指摘があり、参考資料 2 にその点を整理したのでご覧いただきたい。

知床温泉旅館協同組合 : 475 行目にシャトルバスの推奨と書いてあるが、新たな運行を行うのか。全期間行うのか。

斜里バス : バスの運行は基本的にカムイワッカのマイカー規制と一体で決定している。

環境省 : 混雑期のみを想定している。ただし五湖の利用のコントロールにより現在より混雑する可能性がある。

しれとこウトロフォーラム 21 : これまで提案されていなかった事項ではないか。

知床温泉旅館協同組合 : 新しい提案であり、シャトルバスの件は今後協議が必要。

ウトロ地域協議会 : 予約した団体などが、渋滞で到達できないことも考えられる。優先しているなどの検討は課題としてある。

ウトロ地域協議会 : 引率者は一日何度も手数料を払うことになるのか。

環境省 : 手数料の支払いに関して、地元の方や引率者に対して年間パスなどの特別な設定ができないかということは課題として捉えている。

知床温泉旅館協同組合 : 引率者は管理者として捉えて扱うべきでは。

しれとこウトロフォーラム 21 : 混雑を解消するためシャトルバスで効率よく運ぶなど、法的

なことだけでなく、事業として上手くいくように検討すればよい。

環境省：法的な規制の話ではあるが、新たな魅力づけのためのサービス向上を考えたい。

知床ガイド協議会：348行目に記載の身体障害者補助犬について、もし入れた場合その影響はどうか。

斜里町：人の接近に気づいたクマは一時的に身を潜めてやり過ごそうとする場合がある。もし犬がいた場合、クマの存在に気づいて吠えてしまい、不用なトラブルにつながる恐れがある。

クマの経験を積んだ介助犬はおらず、また一方で介助犬を禁止すれば五湖の特殊性を知らない方には悪い印象を与えかねず対応が悩ましい。

環境省：一番親切な方法は、介助する人を無料でつけることであるが、コスト面の問題はあ

知床ガイド協議会：ヒグマ活動期はガイドが対応可能。課題は植生保護期である。

環境省：植生保護期は基本的にヒグマの出没は可能性が低い前提である。

知床ガイド協議会：ガイド協議会のガイドラインにおいては、人が介助することを勧め

斜里町：基本的な考え方として、できるだけ多くの方が地上歩道を利用できる仕組みをめざすというよりは、まずは安心安全な高架木道への利用の誘導を図っていくことが大事だと思う。を

ウトロ地域協議会：今の事項は462行目の記載に整理すべき。

環境省：法律による制限（告示で介助犬の持ち込みを禁止する）ではなく、人の介助を強く勧めるといった内容を検討したい。

(3) 議題 2. 実験の実施について

知床財団：資料 2-1、資料 2-2 に基づき、引率者検討部会の実施概要、22 年度実施予定の利用コントロール導入実験について要綱案を説明。

環境省：本日この場では実験をすることに対して承認いただきたい。細部はまた部会などで調整したい。

知床財団：ガイドの方からははやく時期、期間を決めてほしいとの要望がある。

環境省：実験の予算は確保しており、具体的にどれだけ実験が実施できるか早急に検討したい。

ウトロ地域協議会：部会で検討してきたことであり、このまま進めてもらいたい。

知床財団：今後部会メンバーのほうに情報提供しながら、実験期間、研修会の時期を調整したい。

(4) 議題 3. 広報について

知床財団：資料 3-1、3-2 に基づき、広報イベント案とスケジュール、平成 22 年度の知床

五湖の利用についての広報案について説明。

知床財団：広報部会の設置の可否、PRの内容、キャッチフレーズの募集に関してご議論いただきたい。

ウトロ地域協議会：高架木道の名称募集もキャッチフレーズ募集の紙にあわせて記載したらよい。

知床ガイド協議会：高架木道はバリアフリー対応と記載しているが、点字ブロックもなく車椅子だけが通行できるだけでバリアフリーと言えるのか。どのくらいの人に利用モニターしたかが重要。堂々と書くのは恥ずかしい。

知床斜里町観光協会：高架木道の完成時に、何人かの方に実際にモニターしてもらおうということも考えられる。

しれとこウトロフォーラム 21：高架木道は延長が長く、車椅子は介助なしではいけないことがわかっている。車椅子通行可ではなく、利用可という表現が適当では。

しれとこウトロフォーラム 21：正確な広報が必要。

環境省：資料 3-2 は今のご指摘を踏まえて修正の上、今月中に確定し、皆さんと広報内容の共有を図ることとしたい。なおホームページに記載することを考えている。

ユートピア知床：仮設休憩所の設置期間は決まっているか。いつぐらいまでにわかるか。

斜里町：できるだけ長く設置したいと考えているが、施設の実施設設計が完了しないと正確な期間は見えない。

環境省：実施設計の完了する 6～7 月にはわかる。

ユートピア知床：現在のトイレ、発電機などは工事期間中も使えるのか。

環境省：使用できる。

知床エコツーリズム推進協議会：スケジュールには 8 月に仮設休憩所撤去と記載があるが、できるだけ期間が延ばせるよう配慮願いたい。

ウトロ地域協議会：高架木道に関して、いつでも無料で利用できるとあるが、冬季や夜間など、利用できない期間があり、表現を修正すべき。

環境省：誤解を招かないよう表現を検討したい。

ウトロ地域協議会：地上歩道は 1 週 2.4 km とあるが、5～1 湖までのルート利用の距離か。

環境省：再度正確な数値か確認したい。

広報部会について設置は必要か。

ユートピア知床：広報の検討の場に、斜里町の商工観光課は参加しないのか。

斜里町：内部で確認したい。

環境省：なお世界遺産登録の 5 周年を記念して、横浜でイベントを開催予定しているが、斜里町の商工観光課と協議をしながら進めている。詳細は決まり次第連絡したい。それからキャッチフレーズ等に関しては、ウトロのレンジャーまで案を提出願いたい。スケジュールは昨年 10 月にお示ししたものを更新している。公園利用の作業が若干遅れている。

知床エコツーリズム推進協議会：5月7日が施設のオープンとなっているが決定事項か。

環境省：目安で書いただけであり、決定事項ではない。

北大の愛甲先生に来ていただいているのでコメントいただきたい。

愛甲准教授：今年度の調査はデータ整理途中だが、その結果を踏まえながら、来年度の実験時、その前後のデータをできるだけとって、利用調整の影響のモニタリング方法を検討したい。植生、ヒグマの問題、利用の満足度など多角的な調査が必要だが、継続的に行えるよう、その中から選ぶ必要があると考えており、皆さんの意見もいただきながらモニタリング内容を検討していきたい。

しれとこウトロフォーラム 21：法的な規制を取り締まる人は配置するのか。

環境省：環境省、北海道、斜里町、知床財団、自然公園財団、指定認定機関の職員が巡視の中心となる。具体的な体制は検討が必要。植生保護期は利用者間でチェックし適正な利用を保つ効果を期待している。

しれとこウトロフォーラム 21：五湖の高架木道という名称は、五湖すべてが見られるという誤解を招く。海や連山が見られるという違った売り方ができる名称を考えるべき。

環境省：ぜひ皆さんにご提案いただきたい。

また、現在、協議会は公開で行っているが、テレビ局の取材については、頭撮りだけということにしている。テレビ局から全体を撮影したいとの要望がある。合意をいただけるのであれば、次回から受け入れたい。

一同：差し支えない。今後、PRしていくうえでもオープンが良い。

6. 閉会挨拶：環境省釧路自然環境事務所 則久次長

(以上)